

小児期からの生活習慣病予防に関する 研究報告書

— 第5回調査 —



茨 城 県

(公財)茨城県総合健診協会
茨城県立健康プラザ

平成31年3月

はじめに

現在、我が国では、日々の生活習慣に起因する「がん」、「心疾患」、「脳血管疾患」などの「生活習慣病」が死亡原因の約5割を占めています。また、近年では小児期においても過食や運動不足等により、生活習慣病の危険因子である肥満や高脂血症等が増えていることが報告され、生涯を通じた生活習慣病予防の重要性が指摘されています。

そこで、健康プラザでは、平成元年度の出生児を対象に、「小児期からの生活習慣病予防に関する研究事業」として、これまで4回にわたり生活習慣等に関する調査を実施し、報告書や健康づくりのための教材を作成して参りました。

この度、20歳代後半の生活習慣の現状と小児期の生活習慣との関連を検討するため、5回目の調査を実施し、報告書としてとりまとめました。

就職や婚姻を機に生活環境が大きく変化する20歳代後半の調査は国内でも極めて限られており、今後の小児期における生活習慣病予防対策の資料の一つとして本報告書をご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、この場をお借りして、本調査の実施にあたり多大なるご協力をいただきました対象者の皆様及びご家族、市町村、各関係機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成31年3月

(公財)茨城県総合健診協会
茨城県立健康プラザ
管理者 大田 仁史

目次

I. 概要	p.1
II. 回答者の属性	p.3
III. 調査結果の概要	p.5
IV. 集計表 ー基礎集計(男女別)ー	p.25
V. 参考資料	p.53
VI. 発表論文等	p.79
学会発表 等		
教材 等		